

岡田 新吾(おかだしんご) プロフィール

作品歴

1964年、岐阜県各務原市に生まれる。各務原市在住。

大学卒業後、東京のPR会社・広告制作会社を経て、30歳のときにUターン。

これを機に、名古屋にて広告デザイン会社を起業。

広報や広告の仕事の傍ら、小学生を対象にした学年誌の編集にも携わる。

学研発行の「4年の科学」で7年間にわたり主役キャラクターを務めた『肉まん先生』のプロデューサーでもある。

やがて、児童小説にも創作の幅を広げ、2009年には、処女作となる『約束のつばさ』を発表。

安城市図書館協議会の推薦図書に選ばれたのをはじめ、棕鳩十(むくはとじゅう) 児童文学書賞にノミネートされるなど、話題を呼ぶ。

2冊目に上梓した絵本『くらげのなかよし兄弟 ヒーローになる!』は、羽島市全校の小学一、二年生を対象にした読み聞かせ本に選出される。

絶滅動物園プロジェクトの一環として2016年に発売された絵本『シャバーニ だいすき』は、地元の中日新聞と岐阜新聞を皮切りに、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞など中央紙の記事でも大きな扱いで紹介される。

2017年に発行された幼児向け絵本『のび~るのび~る』は、YouTubeを活用した読み聞かせの映像を一般公開し、話題を呼ぶ。https://youtu.be/J-InVzJ3dmo

電子書籍やモバイルサイトにおける絵本やマンガ連載の実績も豊富。

● 代表作

- 『約束のつばさ』 KTC中央出版(2009年5月発行) ★安城市図書館協議会 2009年冬の推薦図書に選定
- 『つばめの家』 東北出版企画(2013年4月発行)
- 『シャバーニ だいすき』三恵社(2016年7月発行) ★東山動植物園の監修を受けた初の公式ライセンス絵本
- 『うみのもたち、ぼくのもたち。』(2015年1月発行)
★名古屋港水族館の監修を受けた初の公式ライセンス絵本

【児童小説・絵本】



「約束のつばさ」



「つばめの家」



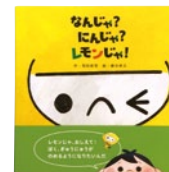
「シャバーニ だいすき」



「のび~るのび~る」



「うみのもたち、ぼくのもたち。」



「なんじゃ?にんじゃ?レモンじゃ!」



「クッピーとラムのたのしい森のピクニック」
★2018.7.2発売予定



「そお星人がやってきた!」



「くらげのなかよし兄弟ヒーローになる!」

【学年誌】



【電子書籍】



「なんかへん?なんかいい!」



「わたしの さがしもの」



「赤いでんしゃが見えたら」



「肉まん先生 4コマまんが 1巻」



「4年の科学」(学習研究社 2004~2010年)



【モバイルサイト】



「アニマルプロレス」



「おでん湯」



「肉まん先生 4コマまんが」